



会報



東京出雲崎会

会長 丸山 保

発行 津山 忠夫

責任者

〒275-0001 習志野市東習志野8-16-13

電話 047-479-3561

平成14年度 第4号・創立60周年記念特集号 1月吉日

# 東京出雲崎会 祝 創立60周年



【良寛像】

彫刻家・茂木弘次氏作品

オオオ……でい〜ぶ かわったネ…!?

良寛さんも ふる里も ニッコリ……

謹んで新年のお喜びを申し上げます。年頭にあたり皆様のご健勝と、ご多幸を心からお祈りいたします。

さて、東京出雲崎会が創設して、今年で六十周年にあたり、一言お祝いのことを申し上げます。六十年前、戦前の社会情勢の厳しい中で、この会を結成され、あまたの苦難を克服しつつ、今回の姿に成長させた会員の皆様に対しまして心から敬意を表します。

町も、永年の悲願でありました国道三五二号中永トンネルが八年の歳月を経て、昨年十月十日開通しましたことは大変喜ばしいものであり、これからは中越地方・首都圏への利便性が増し、産業・経済の発展と交流が促進されるものと期待しております。そして益々当会が出雲崎町との重要な情報の掛け橋として大きな役割を担うものと考えております。

会の創設六十周年を契機として、更に故郷を同じくして、心に安らぎを与え、共に、会員の親睦と友愛を深め、相互の福利増進を計り魅力ある会を推進されますことを祈念して、お祝いのことばといたします。



出雲崎町  
町長 小林 則幸

謹んで新春のご挨拶を申し上げます

本会は今年六十周年を迎えました。その間さまざまな事を通じてふる里との交流を計り乍ら今日に至っております。先人のご尽力で会の基盤は堅固にして会員数も増え会に対するニーズも多様化しております。このような状況に於いて一つの節目を迎えて思いを新たに本会の進むべき道を模索しておりますが、本会の理念である「みんなの会」を合言葉に故郷礼讃の輪を広げるために若い方々の入会を促し、単なる「懐かしがり屋の会」だけでなく故郷の若い人達が行う各種行事に本会の若い方々が参加して相互の交流の場を構築する必要があるかと思っております。

その一例として「出雲崎夕日コンサート」になんらかの形で参加するなども、これからの世代を先取りする考え方で進めて行こうと思っております。

本会を通じて楽しい思い出が残るよう願っております。



東京出雲崎会  
会長 丸山 保

温もり溢れる 故郷の訛り 知人と会える楽しさに 新たな微笑み浮かびます

# 平成14年度 『東京出雲崎会』 定時総会 ＜創立60周年記念＞祝賀会 開催のご案内

◎日 時……平成14年3月9日(土)

受付開始 午前10時より

〔 開会…午前11時 閉会…午後3時30分 〕  
定時総会・創立60周年記念式典

◎場 所……錦糸町「ロッテプラザ」葵の間

(東京都墨田区錦糸4-6-1 電話03(3625)5101)

◎会 費……合計12,000円

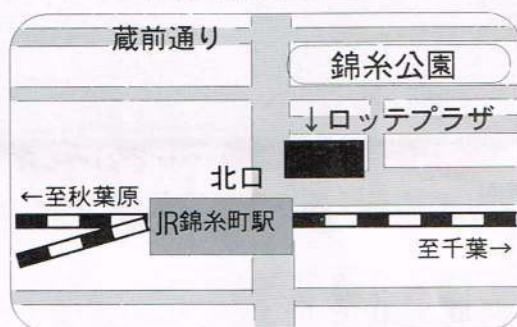
(年会費1,000円+総会費11,000円)

お問い合わせは…電話047-479-3561【津山】



▲昨年度総会風景

【会場案内略図】



(交通) JR総武線「錦糸町駅」北口下車徒歩1分  
(山手線秋葉原駅乗換え3ツ目)

## 式次第

### 第一部 (定 時 総 会)

- ①開会の辞
- ②会長挨拶
- ③議事(経過報告・会計報告・会計監査報告)
- ④閉会の辞

### 第二部 (創立60周年記念の会・懇親会)

**60周年記念アトラクションが  
盛り沢山! 乞うご期待**

## 総会事務局からのお願い

三月九日(土)は東京出雲崎会の年に一度の大祭だよね。カレンダーに〇印をつけてくんないや。町からおけさ会が、いかの塩辛、鱈の親子漬、モゾク、デンプ、笹だんごも来るでね。皆でおけさ踊りを、さんざやろて。お獅子は太鼓や笛、頭や尻をやりにえもんがやれるがんだでね。懐かしい友、やぶち、先輩後輩に、大好きな姉ちゃんを是非誘って来なせいで。どうしても来らんね方には賛助年会費(通信連絡費)年千円ですが同封の払込票でお振込みをお願い申します。尚ご出席の方は当日会場にてお支払いをお願い致します。

受付の混雑を避けるために同封の名札紙を用意しましたので、「御氏名」をご記入のうえ、ご持参ください。入場券、領収書、名札と三連カードになっております。どうぞ忘れねて来てくんないや待っていますすけね!



幹事長  
津山 忠夫

本年度の東京出雲崎会は創立六〇周年の記念すべき年を迎えました。皆様と共に喜び申し上げます。

このように大切な年に幹事長という大任を命ぜられ大変な役をお引き受けしたものだと思ふ反面、六〇年の歴史ある年に皆様のお役に少しでも立てれば幸せもとの思いでお引き受け致しました。気配りと思ひやりの心を大切に大役の任を果たす覚悟でございます。

会員の皆様のご指導とご協力をお願い致します。お待ちかね恒例の東京出雲崎会定時総会、創立六〇周年記念セレモニー並びに懇親会を三月九日(土)ロッテプラザで開催する事になりました。普段はすっかり東京人になっていく私たちが故郷を思う心は皆同じです。懐かしい「いづんざき弁」で思ふ存分しゃべり合い、温かい心に触れ自分の魂を取り戻す絶好の機会かと思ひます。ご多用の事と存じますが多くの皆様のご出席を賜りたく、準備に万端を機し役員一同心よりお待ちしております。

定時総会並びに創立六〇周年記念  
祝賀会開催のご挨拶

東京出雲崎会  
総会開催場所（町村合併後）

| 回数 | 年月日      | 所在地 | 会場      | 出席数 |
|----|----------|-----|---------|-----|
| 1  | S 32.3.9 | 東中野 | 日本閣     | 61  |
| 2  | 33.2.9   | 池袋  | 白雲閣     | 83  |
| 3  | 34.2.7   | 新宿  | 芙蓉会館    | 61  |
| 4  | 35.2.14  | "   | "       | 69  |
| 5  | 36.2.3   | 牛込  | 一平往     | 57  |
| 6  | 37.2.11  | "   | "       | 42  |
| 7  | 38.2.10  | "   | "       | 43  |
| 8  | 39.2.9   | 大森  | 平和島B    | 62  |
| 9  | 40.2.9   | 杉並  | 根津会館    | 84  |
| 10 | 41.2.6   | 浅草  | 新世界     | 92  |
| 11 | 42.2.12  | 杉並  | 根津会館    | 138 |
| 12 | 43.2.11  | 大塚  | 角万      | 155 |
| 13 | 44.2.9   | "   | "       | 157 |
| 14 | 45.2.8   | "   | "       | 160 |
| 15 | 46.2.14  | 目黒  | 雅緻園     | 213 |
| 16 | 47.2.13  | "   | "       | 160 |
| 17 | 48.2.18  | "   | "       | 139 |
| 18 | 49.2.16  | "   | "       | 166 |
| 19 | 50.2.8   | 新宿  | 朝日生命    | 169 |
| 20 | 51.2.20  | "   | "       | 165 |
| 21 | 52.2.11  | 練馬  | 豊島園     | 182 |
| 22 | 53.2.4   | 越町  | 東條会館    | 192 |
| 23 | 54.2.3   | "   | "       | 180 |
| 24 | 55.2.2   | "   | "       | 211 |
| 25 | 56.2.7   | "   | "       | 234 |
| 26 | 57.2.6   | "   | "       | 205 |
| 27 | 58.2.5   | "   | "       | 196 |
| 28 | 59.2.11  | "   | "       | 219 |
| 29 | 60.2.9   | 目黒  | 雅緻園     | 190 |
| 30 | 61.2.8   | "   | "       | 173 |
| 31 | 62.2.8   | "   | "       | 138 |
| 32 | 63.2.6   | "   | "       | 197 |
| 33 | H元 2.4   | 越町  | ダイヤモンドH | 187 |
| 34 | 2.2.3    | "   | "       | 179 |
| 35 | 3.2.2    | "   | "       | 167 |
| 36 | 4.2.2    | "   | "       | 191 |
| 37 | 5.2.7    | "   | "       | 200 |
| 38 | 6.2.6    | "   | "       | 230 |
| 39 | 7.2.11   | 西新宿 | ホテル海洋   | 180 |
| 40 | 8.2.11   | "   | "       | 189 |
| 41 | 9.2.23   | "   | "       | 204 |
| 42 | 10.3.7   | "   | "       | 170 |
| 43 | 11.3.6   | 錦糸町 | ロッテプラザ  | 212 |
| 44 | 12.3.11  | "   | "       | 220 |
| 45 | 13.3.10  | "   | "       | 205 |

# 創立60周年記念事業について

今年、東京出雲崎会が発足して、丁度六十周年に当たる記念すべき年であります。このたび当会では創立六十周年の記念事業として、次の通り特別企画を計画致しましたのでご紹介いたします。

## 当日の総会出席者全員に

総会当日の出席者、及び本年会費納入の方全員に、記念品を贈ります。

## 「ふれあいの里」に

郷里、出雲崎の福祉施設「ふれあいの里」へ福祉関係の資料を寄贈いたします。

## 出雲崎小・中学校に

母校、出雲崎小学校、並びに、出雲崎中学校へ学習の教材を寄贈いたします。

## 当会の功労者に

東京出雲崎会の発展に努力をされてこられた、歴代会長の功に報いるため、記念品を贈り謝意を表します。

以上記念事業の四本柱をご紹介しましたが、これを機に役員一同心を新たに、東京出雲崎会の更なる発展と飛躍に向けて一層努力してまいりますので、今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

## 【名誉町民】の称号が（八十八歳・台東区居住）

## 青山さんに贈呈されました



出雲崎町の名誉町民条例に基づき青山庄司さんが名誉町民として推挙され昨年六月二十日の町ほう賞式の席上で称号証書贈呈が行われました。同氏の偉大な功績を讃え足跡の概要をご紹介します。

同氏は昭和二年三月、出雲崎尋常高等小学校卒業後、北海道に就職され、その後東京に出て洋反物卸商として苦難の中、大変な努力により成功され、現マルベニ洋品店を経営、今日に至っています。商業界セミナー全国同友会理事長ほか全国商業界の重鎮として商業界の発展に努められました。町出身で商業界の大御所であった故新保民八氏の胸像建立にあたっては、中心的役割を担われました。昭和五十八年から現在まで十八年間良寛記念館理事長としてその発展に努められ平成五年には秋篠宮紀子様をご案内し全国良寛会顧問としても活躍中です。

その他、東京出雲崎会会長を昭和六十二年から平成五年まで勤められた他、東京新潟県人会の理事としても活躍されたり、浅草スポーツクラブ父母の会会長・浅草中町会会長・浅草警察署防犯支部長・浅草法人会理事等々。これら要職により東京都知事賞・台東区長賞・浅草税務署長賞・優良申告法人表彰等数多くの表彰を受賞されています。常に郷土を愛し、年に何回かは出雲崎町を訪れ旧交を暖められ、平成四年からは毎年町の社会福祉行政発展のために多額の金員をご寄付されており町民各位から感謝されています。（出雲崎町役場広報誌より）

## 出雲崎町【名誉町民】

佐藤三千三郎氏（故人）  
春日邦平氏（故人）  
佐藤静夫氏（故人）  
唐澤富太郎氏  
青山庄司氏

母さん、いつもより美味しいご飯ネ...

町の風土が育んだ美味しい「ふる里米」

※平成13年産米 産地直送  
出雲崎産 コシヒカリ

※かも米コシヒカリ  
（合鴨農法無農薬）

※平成13年産  
出雲崎産エゴ草

5kg...2,900円 5kg...3,500円 100g...1,100円

天領の里

詳しくは案内書をご覧ください

観光物産センター

〒949-4308 新潟県三島郡出雲崎町尼瀬6-57  
電話 0258-78-4000 FAX 0258-78-4770

越後出雲崎天領の里  
ふる里だより  
東京出雲崎会会員の皆様、お元気ですか！田舎のみんなも元気で。今回も出雲崎産直の「コシヒカリ」「エゴ草」のご案内書を同封致しました。ふる里の味を堪能してみませんか！。ご注文をお待ちしております。  
天領の里課 徳永

# 六十周年を迎えて

## 東京出雲崎会

### 設立の起因

昭和十六年、日独伊三国同盟が締結される等、あわただしい世相のなか出雲崎尋常高等小学校の校長を歴任された、故長谷川善作氏の法要が多く、参列者のもとに尼瀬稲荷町の真宗養泉寺に於いて営まれておりました。その席上、当時世田谷で開業医を営む平沢順一郎氏などによって「京浜地区の在住者による懇親会」が話題になり、それがきっかけとなって翌十七年、京浜地区に住む卒業生数名によるお盆休みを兼ねた同窓会が平澤氏宅にて開催されたのです。その席には、後に初代会長をされた佐藤三千三郎医博、二代目会長を継がれた相澤猛氏、副会長の春日邦平氏（後の名誉町民）会計の高橋辰治氏、幹事長の佐藤三次郎氏、後の幹事長嶋川潤蔵氏等七、八名が出席。そこに前もって平澤氏より連絡を受けていた「出雲崎おけさ」の名手小町南山、名達正城、中川寅吉、小町弥太郎の各氏や三味線、踊手の方々も馳せ参じ、とても賑やかな会でした。これは伊藤丈山氏の証言で同氏は平澤氏の奨めにより、当日「おけさ」の踊手として同席されたのです。

これが【東京出雲崎会】設立の端緒になったのが実情のようです。

### 町村合併に伴う

新生東京出雲崎会誕生

一方、戦後に東京西越会も発足し、山後政七氏、赤尾兼章氏などが活躍されていましたが、昭和三十三年の町村合併により相互の会も合併して新生東京出雲崎会となり、日本閣に於いて六十一名出席のもと第一回総会が開催されました。

### 【歴代会長】（敬称略）

|    |        |    |   |
|----|--------|----|---|
| 初代 | 佐藤三千三郎 | 相澤 | 猛 |
| 二代 | 相澤     | 猛  |   |
| 三代 | 佐藤三千三郎 | 吉次 |   |
| 四代 | 田中     | 善一 |   |
| 五代 | 嶋川     | 庄司 |   |
| 六代 | 青山     | 政雄 |   |
| 七代 | 大矢     | 幸八 |   |
| 八代 | 千代田    | 保  |   |
| 当代 | 丸山     |    |   |

### 会旗新調の思い出



当時幹事長 千代田 幸八

ふるさと出雲崎への思いを馳せた先人のご尽力により昭和十八年に東京出雲崎会が結成されて以来、六十周年を迎え誠に御目出度うございます。議題の会旗新調については十年をさかのぼる、創立五十年（平成四年）一つの記念行事として、ふるさと訪問交流会を企画しました。その際の幹事会で五百余名の会員を擁しながら未だに会旗の無い現状について、この機会に是非会旗を新調し交流会に持参すべきとの発言が発端で幹事会や総会でも承認されました。さて旗章・デザイン等いろいろな問題も多少ありましたが日頃何かとご指導いただいておりますた当時の町役場企画振興課の片山力様のお力添えを頂き町当局へ町章、デザイン等の使用を認めて頂きたい旨お願い致しました処、小林町長・議員全員協議会でご了承頂いた旨のご通知を頂きました。規格、図案等は町章を利用して頂く事にし、当時の青山会長や幹事の皆様からご協力と心温まる浄財により茲にすばらしい会旗が新調されました。平成四年六月のふるさと訪問交流会で町当局から大変な歓迎をいただき会場で皆様に披露できたことはこの上ない喜びでした。これからも会旗と共に東京出雲崎会をますますのご隆盛を祈念申し上げます。

## 当会員のパワー



「ありがと学び舎」を発行することになったと「出雲崎小学校閉校記念事業実行委員会」の太古誠一実行委員長から、東京出雲崎会にも記念事業に参加協力の要請があり、当会会員は、それに応えて各自それぞれ、金員を出し合い、総額なんと二百九十九万円の寄付金を実行委員会の方へ寄せられました。ふる里を想い、愛する心がひとつになって、このようなパワーとなりました。この団結力に驚き、又、感謝の心の現われとして閉校記念事業実行委員会から「大漁旗」（写真右）が当会に寄贈されました。

### こちらも頑張っています

#### 新潟出雲崎会

代表幹事 太古 幸男

創立六〇周年おめでとうございます。ますますご発展、ご活躍に心から敬意を表します。私たち新潟出雲崎会は発足してからまだ十二年。会員名簿も一五〇名余りの小さな組織であります。ふるさとを愛し、想う心はみな一緒です。毎年一に開く総会には三十数名の

祝 60周年記念 東京出雲崎会  
ふる里の心の歌と 三弦を伝える

出雲崎 秀和会  
会主…小林 等  
藤本流師範…藤 本 秀 等

鳴滝町 電話 0258-78-2746

東京  
井鼻会

(株) 竹田電気工業所

代表取締役社長 竹田 弘  
(鳴滝町出身)

〒169-0073  
東京都新宿区百人町1-22-3(竹田ビル)  
電話: 03(3371)0039(代表)  
FAX: 03(5330)7338  
ドコモショップ北新宿 03(3371)0093  
IDOプラザ北新宿店 03(3371)0911

先人の熱き想いを今に伝える総会！  
磯の香が汐風に乗り聴こえくる…おけさの調べ…

歴代会長を中心に多くの先輩の情熱とご尽力のおかげで、歳月を重ね乍ら会員も増加してまいりました。「出雲崎おけさ」の名手、小町南山・名達正城・中川寅吉・小町弥太郎の各氏からはじまり、嶋川善一氏、伊藤丈山氏、山本銀次氏等長老の方々によって唄いつづけられた東京出雲崎会の「出雲崎おけさ」も若い人達によって受け継がれております。



今日に至っております。会場におけさの調べが流れ太夫さん舞の笛、お獅子の太鼓の音がひびき出しますと、出雲崎の風景がまぶたに浮かび、その頃の気持がよみがえって参ります。まさに会場は出雲崎一色となった感じで、あちこちから「いかった、いかった。おめさん来年もきつと来んばならんでね」の声が。平成四年、創立五十周年を記念して大型バスで出雲崎を訪問、なつかしい石井神社大祭を見物、神楽舞や小木ノ城太鼓、出雲崎おけさ等で歓迎していただきました。チャンチャコチャンの笛や太鼓に歓喜し、鯛やささえ・もずく・「焼きイワシ」等の地の魚介、手づくりの笹団子等で、もてなしていただいた喜びは今も熱く胸に残っております。

### 出雲崎小学校に 校旗を贈る

昭和十八年八月のお盆、出雲崎で「京浜出雲崎会郷土激励第一回連絡会」が開催され、初代会長に佐藤三千三郎氏を選考し、同年十月に出雲崎小学校創立七十年記念式典が挙行された際、会名を「東京出雲崎会」と正式に決め、学校に校旗を寄贈した。

### 初参加しました

六十周年  
おめでとうございます。  
初めて出雲崎会に出席した  
夕渚会 大槻鈴子



古希を迎えて「モッコの会」



時、先輩の皆様にあかく迎えられるよりも久しく聞いていない「あなた方、若い人」と言われ、ちょっと、しうしかったことが思い出されます。出雲崎を体中に感じパワーをいっぱいもらった一日でした。これからも宜しく願います。

### 新成人への アンケート結果

当会の存在は知らなかったが、本日の講演で多少の興味を持った！？。

新成人の集いが八月十五日に出雲崎町役場を会場にして盛大に挙行されました。席上当会の丸山会長も新成人の未来に幸多かれと祈念し祝辞を述べられました。

同時に当会に対するアンケートを配布し新成人に記入していただきました。

●「東京出雲崎会」の存在を知らない：が七三%

●当会の活動状況が配信されれば見る：が六五%

●若人の入会を促進してありますが興味ありますか？。

有り：一名 無し：十二名  
どちらとも云えない：十三名。の回答でした。

若い人達なので当会に対する関心度が低いのは無理からぬ事で、やがて社会的な地位が安定し歳を重ねるにつれて故郷を懐かしむ年代になれば関心度も高まって来るものと思えます。

当会としては折に触れ今後とも会の存在や活動状況等を多角的な見地に立ち、入会しやすい対策を考え会員の皆さんと共に魅力的なピアーを継続して行く努力が必要だと思えます。

アンケートを寄せていただいた新成人の皆様、有り難う御座いました。

(広報委員会)

### この頃思うこと

### 良寛さん

野口 文男



滋賀大学の学長をされ良寛研究家でもあった三輪健司さん（出小卒）が母校に在職中の私を訪ね「子ども達には良寛さまではなく良寛さんと呼ばせてほしい。よその人は良寛さまと呼ぶがふる里を同じくする私達は昔から「良寛さん」と親しみをこめて呼んできた：」などのお話を意を強くし乍ら聞いた頃が懐かしう思い出される。校歌では聖僧と歌い、町なかの石碑の和尚や禅師の大字を読んでも普段の話し合いでは「良寛さん」とごく自然にさん付けで呼ぶ出雲崎の人々。が、「良寛さん」と肌で感じ親しみ呼びながら良寛さんを知らないで過ごしている私たちではなからうか：。——時を経て世が変わっても「知れば知る程、学ぶ事の多い「良寛さん」と、思われてならない今日この頃である

◎さま・禅師・上人・和尚に親しまず良寛さんと里ひとら呼ぶ◎

TURBO（回転機器の設計）

(有)ターボエンジニアリング

代表取締役 丸山 保

〒279-0021

浦安市富岡4丁目5番6号

電話：0473(55)8911

FAX：0473(55)8911

昭和二十年

出雲崎国民学校  
高等科卒

午朋会

増改築のゴリランド

日本住宅総合サービス(株)

代表取締役 伊藤 勝

〒136-0076

東京都江東区南砂6-11-17

電話：03(3648)8575

FAX：03(3648)1966

# 郷土の歴史(三)

出雲崎町公民館

前館長 大森 正雄

## 【西越地区】

### 西照坊

中山の西照坊は安永(一七七二〜八一)の始め頃、土地の百姓惣代・南波家が妙喜尼のために建てた尼堂である。妙喜尼は南波家の五代目・茂左衛門の妻であったが、明和四年(一七六七)夫に先立たれ、その数年後に出家した人である。光昭寺の寺領は中山にもひびいたので、若い頃の良寛は、しばしば西照坊に妙喜尼を訪ねて、お茶をこ馳走になったり、法話を交わしたのと思われる。国仙和尚の没後、円通寺を出て諸国行脚の旅に上がった良寛は寛政八年(一七九六)良寛三十九歳頃、帰郷した。帰郷直後、西照坊に住ん

だという説もあるが定かではない。しかし、三輪九郎右衛門宛の書簡に、

左一老遺物 並 酒味  
曾恭 受納仕候  
野僧今月五日 中山に住  
庵 仕候 来春御面談  
申上可 尔々 敬白  
十月十六日 良寛  
三輪九郎右衛門老

というのがある。

三輪左市は与板の豪商・大坂屋三輪家の人である。良寛の親友で共に参禅した仲であった。文化四年五月一日に死没した。したがって、この手紙は文化四年(一八〇七)十月



のものとと思われるので、良寛は同年十月五日に西照坊に移り住んだと考えられる。この頃、橘屋一家は出雲崎住民との訴訟問題で命運をかけていたので、良寛は心配の余り、生家橘屋の近くの西照坊に移り住んで、由之一家を見守っていたのである。

## 【海岸地区】

### 浄玄寺の

### 良寛書簡碑

羽黒町の浄玄寺の玄関前に、平成十二年十一月、良寛敬慕会・出雲崎町・浄玄寺門徒一同の三者によって建立された良寛書簡碑がある。碑面には

阿弥陀經一卷  
御拝借 被下度  
十月十日  
浄玄寺様 良寛

と刻まれている。  
浄玄寺は浄土真宗の寺で

良寛より十九歳年少の末妹みかが嫁いだ寺である。みかの夫・曾根智現は中蒲原郡寛路津(現・新津市)の笠井家の生まれで浄玄寺の養子となった人である。すぐれた学僧で、東本願寺から大谷派本山の嗣講師に任ぜられ、各地を布教し、仏教関係の著作もある人である。海岸と号し、天保六年(一八三五)に没した。

良寛の死に際して離別を惜しんで

泣く涙せきぞかねつる  
ふち衣  
立ちもかへらぬ  
人を恋うとて

わが袖にもるる

涙をかけよとて

かたみに残す

から衣かな

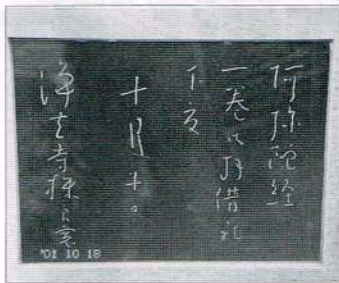
などの短歌を残している。嘉永五年(一八五二)十二月二十一日、七十六歳で死没した。

良寛は曹洞宗の光昭寺で剃髪し、円通寺で修行した。越後へ帰ってからは、真言宗の国上寺の五合庵で長く生活し、後に乙子神社の社務所で暮らした。晩年は浄土真宗の信奉者木村家邸内



に住み、墓は浄土真宗の隆泉寺にある。

このように帰国後の良寛は宗派にこだわらなかつた。この書簡からも、浄土宗や浄土真宗の經典である「阿弥陀經」を改めて学ぼうとしていることが知られる。良寛の求めて止まない探究心の強さが感じ取れる。



(昭和8・9年生)

## 東京末広会

幹事 竹田 弘 幹事 吉田侃一郎  
" 渡辺春雄 " 市川 静子

〒169-0073

東京都新宿区百人町1-22-3

電話: 03 (3363) 3468

出中 昭和二十五年卒

## さざなみ会

別称 なっぱの会

## 七八会

今年は古希です

大谷三郎・吉水 護

出雲崎国民学校 昭和20年卒業

天領の豊かさを今に伝える

# 北前船と明神丸

千代鶴屋 仁六



祖父から親へ、親から子へ、子から孫へと受け継がれた話を記しておきたいと思います。我が千代田家の祖先是安芸の国（今の広島県山県郡千代田町）の出身だそうです。

初代千代鶴屋仁六と言う人は若い頃から海運業に憧れ、大いに興味を抱き、学ぶべきを学び、遂に北前船稼業を起したそうです。幼少より明神様を信仰していたので船名も明神丸と名付けたそうです。

江戸時代は武士以外、一般庶民は名字帯刀を許されず大方屋号か紳名を名乗っており、千代鶴屋仁六は天保十二年丑年三月十六日没享年六十歳「大智院勇健日徳信士」和島村の治暦寺に眠っており、墓石は故郷安芸の国の御影石で息子の二代目が建立したものです。

仁六は瀬戸内海から関西の物資を積み、関門海峡を通り日本海を北上し、蝦夷松前まで行く廻船稼業に励んだそうです。北前船は各地の特産名産を（例えば松前の鯨は出雲崎湊、鱈子は博多へ、昆布は浪花の津まで）積み下ろしをしての商いで、当時は大変な遠距離海運だったのです。途中の出雲崎で唐物を降ろし、すぐに越後米を積んだのです。参考までに千石船建造費はおよそ千両。順調な実績推移にて三年から五年にて採算に見合うか。乗組員は十五から二十名で保険制度のなかった時代、リスクは大きかったのです。しかし海の男は敢然と立ち向かったのです。

江戸時代の出雲崎は大変に繁盛し賑やかで人情に厚く、そして何よりも暮らしやすい所だったので仁六はとうとう出雲崎に住居を構え、此処を基盤に廻船業に勤しんだのです。しかし世が明治時代になると鉄道が敷設されるようになり、物資の輸送は海上から鉄道へ徐々に移り変わって行き遂にはさしもの北前船も衰退していったのです。その為二代目千代鶴屋定吉は近

離航路に切り替えたそうです。後に定吉が秋田港から能登半島まで米を運ぶ途中で運悪く時化に遭い、終に明神丸は大破してしま

って、やむなく海運業はそれで終わったそうです。栄枯盛衰は世のならいか。今でも尼瀬稲荷町の稲荷神社本殿の右脇に船の守り神として知られる四国讃岐の金毘羅宮さまの分神が安置されており、これも何か明神丸と深く縁があったと思われるのです。本殿礼拝の間、左欄間上に明神丸の船絵馬が奉納されてありました。残念ながら大分以前の台風にて本殿中破の被害時に諸共毀れてしまいました。残念の極みであります。

出雲崎にいた頃は皆さんに千代田さんと呼ばれるより千代鶴屋と呼ばれて居りました。我が家には今でも幾つかの明神丸の遺品が残っており、船金庫・船算盤等を大切に保存しております。その中の晴雨や嵐の気圧計・陸算盤と秤等を天領の里時代館に寄付させて置き、それらが展示（写真）されております。



## 生活の窓が未来を育む

一般国道352号線

中永トンネル



平成五年十月から工事が進められていた一般国道352号中永トンネルが、丸八年の歳月を経て、昨年の十月十日に開通しました。出雲崎と中越地区の中心都市長岡市を結ぶ唯一の幹線道路として、今までの崖プチで狭い道路の旧中永トンネルに代わって、特に冬場など悪天候時の交通の便が確保されたと共に、長岡や東京を始めとする関東から日本海に一番近い町？。出雲崎町となった。

この新・中永トンネルの開通で町民一同が出雲崎町の益々の発展を期待して意気込んでおります。  
(広報いずもぎより)

船祭り、花火大会と噂の一日が終わって、眠れぬままに築港に出て波の音と満天の星空を眺めてる中に江差追分や牛深ハイヤ節、しげさ節そして船方節の名調子、艶やかな唄声が聞こえてくるようだ。ご先祖さん達も陽気で唄上手もいっべこと居たらかなあー？。

八月や 墓参で帰省

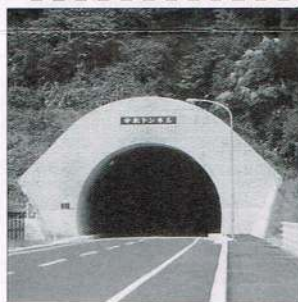
船まつり

耕治

千代鶴屋五代目当主

千代田耕治

川口市在住・稲荷町出身



三島町側



出雲崎町側

ねらの会  
出中 昭和三十二年卒

二七会  
出中 昭和二十七年卒

二二美会  
出中 昭和二十八年卒

はのいの会  
出中 昭和二十六年卒

15辰巳会  
出中 昭和三十一年卒

## 追悼抄

七代会長（平成五年～平成九年）

大矢 政雄氏【享年八十四歳】

平成十三年八月二十日ご逝去されました



雲崎会に対して暖かいご指導とご教訓を賜りました。此処に謹んでお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます。ご会葬も趣味の俳句仲間の方々を中心とされた葬儀で詩情のこもった中にも、厳かなるお別れでした。

故人、大矢政雄氏は歴代会長顧問として、私達東京出

故里の銀河へ巨星消えにけり  
人柄も名句も渚に雄峰逝く

## 役員改選による（平成十四年度）新執行部役員

名誉会長 千代田幸八  
会長 丸山 保  
副会長 鳥井鎌太郎  
々 佐藤 憲一  
幹事長 津山 忠夫  
（兼・組織委員長）  
副幹事長 佐藤恵美子  
（兼・広報委員長）  
副幹事長 大橋 幸子  
（兼・組織副委員長）  
々 佐野宰三郎  
（兼・運営委員長）  
々 内藤 久吉  
（兼・会計委員長）  
々 山田 次則  
（兼・文化委員長）  
会計監査役 大矢二郎

俳句（渚）東京在住者

無骨者鱈汁だけは上手なり

酒の市熊手を肩にスキヤキ屋

男郎花午後は日かげの垣ぞいに

心して障子洗ふや還の厝

クリスマスケーキ片手に都電待つ

松本登美子（中川）  
中川 栄吉（夢想子）

導師は、大矢政雄氏の故郷で良寛誕生の出雲崎から福厳寺住職遠藤師・善乗寺住職桜井師の両和尚で執り行われました。合掌。

会から葬儀に参列の方々

名誉会長 千代田幸八

会長 丸山 保

副会長 佐藤 憲一

相談役 吉水 護

幹事長 津山 忠夫

磯野 猛（哲）

後藤 米次（仙楽）

## 新規同級会紹介と

会名変更のお知らせ

【新規加盟同級会】

●ねらの会

出中十回卒・昭和三二年卒  
東京代表幹事 岡田 斉

小林能成

【会名変更】

（旧）夕風会

（新）紙ふうせん

出中昭和三五卒

## 広報委員会よりお願い

来年度の会報発行に際し、本年の総会及び六十周年記念行事に参加された会員の皆様、ご感想・ご意見を三〇〇字以内、五月底日迄に左記へお送り下さいませ。様お願い致します（匿名可）

【送り先】

〒275-0001 習志野市

東習志野八一六―十三

津山 忠夫  
会事務局広報委員会宛

フアッションの街青山表参道にアメ獅子魔狩通る

昨年十二月八日原宿新瀧ネバス前で勇壮な太鼓・笛の囃子の中でオンパコいっばいのアメ獅子が住吉町の若い衆？の手で舞った。丸山会長はじめ在京会員多数が応援に駆けつけ大変な賑わいだった。



## 総会場展示作品募集！

文化委員会

文化委員会では、この度の東京出雲崎会創立六十周年記念行事に協賛しまして、会員の皆様方が平日頃精進されている左記作品を、当日の総会場（ロッテプラザ）に展示します。出品をご希望の方は二月末までに左記宛お送りください。

## 【出品作品類】

○書道（半紙）○水墨画（十号以内）○水・油彩画（十号以内）○版画（色紙台）○写真（A4以内）

【送り先・問い合わせ】

〒333-0023

越谷市東越谷七二二―一

電話（048）366-8491

山田 次三

## 平成十四年度 事業予定

☆三月九日【定時総会】

創立六十周年記念大会

☆八月十五日【船まつり】

☆八月十六日【成人式】

☆十月下旬頃【文化活動】

☆翌一月下旬【会報発行】

☆その他

役員懇談会

役員会総会

各委員会会議

会報編集会議

新瀧県人会出席

新年会：東天紅

一月二十七日

●総会：（県人会館二階）

五月二十五日

●納涼大会：七月二十日

●旅行会：九月中旬の予定

## 編集後記

「創立六十周年を迎えて」百里の道を、旅行くひとは九十里を以て半ばとすべしと、言う諺が、ありますが東京出雲崎会も我々会員もこれから益々本領発揮して新世紀の空を天翔ける年になる事と確信して居ります知性教養処世術を心の内に会員各位が、一堂に集いて親睦を図り語り合うことが明日への飛躍の原点であると、古来聖者も訓えています。本年も宜しく、指導の程と会員の皆様の、寄稿をお願い致します。

（編集部）

美美会  
出中 昭和三十三年卒

三七寛の会  
出中 昭和三十七年卒

夕渚会  
出中 昭和四十年卒

紙ふうせん

出中第13回卒業生の会名

文化委員会の呼びかけに応じて

観光案内等に載らない、ふる里出雲崎の風景写真と出品する。乞う期待！

瓦版「紙ふうせん」編集部

